

御所湖随想

H22年1月 No.6

気配

今年は、暖冬、雪も平年並みという予報が出されていて、今年も雪は少ないのかと思っていたが、「予報はあくまで予報」という声が天から聞こえてきそう。お空の鬼さんは笑っているのだろう。

地上では、動物たちが自由気ままに歩き回っている。雪が降った日の朝、雪の上の足跡を見るのがとても楽しみだ。自然の気配を感じ、ドラマを見るようだ。



テンの足跡

テンは、冬毛は山吹色、顔の白いかわいい顔をした肉食獣。下手に手を出すと指を食いちぎられるかも。



何を感じたか、走って斜面を下っている。その歩幅の大きい事。歩幅は1m以上ある。



狸とテンがランデブー。
そして、狸は左へ、テンは天？へ

狸の足跡
きれいに3つづつ
4本足なのに



リス。
テンの足跡をまたぐように交差。
リスは冬眠するように思われている人もいるけど、冬眠はしないんですよ。



ウサギ
3歩目で前足をついて一休み
跳び箱の開脚跳びの名手。